

部活動地域展開に係る他市町の取組事例について

宇治市部活動地域展開推進委員会事務局

1. 学校部活動に係る主な課題について

- ・生徒数の急激な減少により、単独でのチーム編成や部活動の維持が困難な場合がある。
- ・生徒がやりたい種目を選べない環境が生じており、部活動数の地域格差や選択肢の減少が起きている。
- ・大規模校においては1部活動あたりの人数が多くなり、練習場所の不足や内容に制限が出る場合もある。
- ・既存の学校部活動の枠にない多様な活動への希望やニーズが多くなっている。

2. 休日（土日）における地域展開の取組事例

A	公立中学校数	7校 ※令和7年度時点
	公立中学校 生徒数	1,868人 ※令和7年度時点
	運営団体	民間企業に委託
	実施主体	スポーツ団体・文化芸術団体・民間企業 など
	活動場所	学校施設・公共施設・民間企業施設・オンライン など
	保護者負担	活動の継続に必要な金額を各団体が設定
	取組内容	・各協会や既存団体を中心とした地域展開 ・60を超える地域クラブが活動を実施 ・団体の実態に応じて、エリアごとや学校ごと、市内全域など参加生徒の対象地域を設定
	大会への参加	・中学校体育連盟の大会は、種目により平日の学校部活動単位もしくは地域クラブ単位で出場
	特徴	・「魅力あるまちづくりにつながる地域展開」を基本方針とし、地域展開を通じて子どもたちの成長をまち全体で支える環境を目指す ・経済的困窮世帯の参加者や遠距離の参加者への支援金制度を構築 ・令和8年度から行政内に部活動地域展開担当課を設置

B	公立中学校数	3校 ※令和7年度時点
	公立中学校 生徒数	1,937人 ※令和7年度時点
	運営団体	教育委員会
	実施主体	総合型スポーツクラブ・スポーツ団体・文化芸術団体・NPO・保護者会 など
	活動場所	学校施設・公共施設 など
	保護者負担	月額3,000円程度を目安に各団体が設定
	取組内容	・中学校の部活動を集約化した地域展開 ・部活動種目ごとに活動を実施し、吹奏楽部は学校部活動単位で活動を実施 ・半数以上の活動で兼職兼業教員が指導 ・総合型スポーツクラブが複数の種目の実施主体として活動を実施
	大会への参加	・中学校体育連盟の大会は、出場可能な種目を除き、平日の部活動単位で出場
	特徴	・教育委員会が運営を担い、各団体への支援等を実施 ・実施主体を保護者会が担う活動もある。

C	公立中学校数	3校 ※令和7年度時点
	公立中学校生徒数	944人 ※令和7年度時点
	運営団体	スポーツ：スポーツ協会 吹奏楽：地域団体
	実施主体	スポーツ団体・文化芸術団体 など
	活動場所	学校施設・公共施設・高校 など
	保護者負担	各団体が設定
	取組内容	・中学校の部活動を集約化した地域展開 ・学校部活動種目を中心に、既存の団体が活動を実施 ・吹奏楽では、広域の中学生や多世代を対象に活動を実施
	大会への参加	・中学校体育連盟の大会は、平日の部活動単位で出場し、大会前は休日も学校部活動単位での活動を実施
	特徴	・スポーツ協会、地域団体が運営を担う ・実証事業の段階から参加費を徴収 ・兼職兼業の教員が新たにチームを立ち上げる例もある。

3. 休日（土日）・平日の地域展開の取組事例

D	公立中学校数	82校 ※令和7年度時点
	公立中学校生徒数	32,633人 ※令和7年度時点
	運営団体	民間企業に委託（団体管理・相談・支援業務等）
	実施主体	総合型スポーツクラブ・競技、文化芸術団体・民間企業・大学 など
	活動場所	学校施設・地域の諸施設 など
	保護者負担	可能な限り低廉な金額を各団体が設定
	取組内容	・既存団体を中心とした地域展開 ・部活動種目だけでなく、部活動になかった種目や気軽に取り組める活動など、子どものニーズに合った種目や活動を実施 ・1000を超える地域クラブが活動を実施 ・平日は16時から20時30分のうち2時間程度、休日（土日）は9時から18時のうち3時間程度の活動を設定
	大会への参加	・地域クラブが中学校体育連盟に参加申請し、認可を受けることで、中学校体育連盟主催の大会に出場可能
	特徴	・子どもたち自身がやりたいことを、校区を超えて活動に参加できる仕組みを構築 ・活動団体は登録制とし、公募・審査を行い登録 ・多様な指導者に向け、オンライン研修システムを構築 ・スマートフォンで会費決済や参加・活動終了の通知ができる専用の仕組みを構築

E	公立中学校数	9校 ※令和7年度時点
	公立中学校 生徒数	3,205人 ※令和7年度時点
	運営団体	・スポーツ：スポーツ協会 ・文化：文化団体 ・地域団体による独立した運営
	実施主体	競技団体・文化芸術団体・民間企業 など
	活動場所	学校施設・公共施設・民間企業施設 など
	保護者負担	各団体が設定
	取組内容	・学校部活動の受け皿となる種目の地域クラブと多種多様な地域クラブを並行した地域展開 ・スポーツ協会・文化団体が学校部活動の受け皿となる種目の地域クラブを運営し、既存の各団体が多種多様な地域クラブを運営・管理する仕組みを構築 ・各団体の実態に応じて、週当たりの活動回数を設定
	大会への参加	・地域クラブの実態に応じて、基本的に中学校体育連盟に参加申請し、大会に参加 ・地域クラブごとに大会への参加について調整
	特徴	・「学校教育の一環」から「生涯学習の一環」への転換を掲げ地域展開を実施 ・放課後の時間を活用して、週1回程度マルチスポーツ活動の研究を実施